

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～令和2年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市民会館	千葉市文化センター
条例上の設置目的	千葉市民会館設置管理条例(抄) 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり市民会館を設置する。	千葉市文化センター設置管理条例(抄) 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり文化センターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	当該施設における実演芸術の鑑賞を通じて、文化に対する市民の興味を喚起し、さらに理解を深めるとともに、文化団体等の大規模な発表の場として、市民の文化芸術活動を支援していくこと。	長期的な視点で市民の文化芸術活動への支援や特色のある創造的な事業を行うとともに、市内の文化芸術に関する情報や人材が集まり、広く交流・発信していく場として、市の文化振興の拠点の役割を果たすこと。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	【文化芸術鑑賞の中心的役割】 ・創造性、企画性の高い実演芸術の公演の提供 ・特色のある実演芸術の公演の提供 ・利用者等のニーズに対応した実演芸術の公演の提供 ・文化芸術活動の大規模な発表の場 ・継続的な施設利用を可能とするための老朽化した施設の適切な維持管理	【市の文化振興の拠点】 ・長期継続的な取組みによる実演芸術の創造 ・市の文化を担う人材の育成 ・文化芸術の情報集積・発信、交流基地
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度の導入による市民サービスの向上により、さらに多くの市民に利用してもらうという効果を見込んでいる。 市民会館では、突発的な修繕への柔軟な対応等老朽化した施設の適切な管理を、文化センターでは、市の文化振興の拠点施設としての役割の発揮をそれぞれ期待している。	
指定管理者名	公益財団法人 千葉市文化振興財団	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年)	
所管課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	

2 成果指標等の推移

(1) 千葉市民会館

(ア) 施設利用者数(楽屋除く)(成果指標1)

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	324,638人	363,607人	398,346人	381,762人	367,088人
数値目標※	355,000人以上				
達成率	91.4%	102.4%	112.2%	107.5%	103.4%

(イ) 使用件数(楽屋除く)(成果指標2)

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	3,660件	3,843件	3,871件	3,495件	3,717件
数値目標※	4,400件以上				
達成率	83.2%	87.3%	88.0%	79.4%	84.5%

(ウ) 実演芸術の公演本数(成果指標3)

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	26本	35本	32本	24本	29.25本
数値目標※	24本以上				
達成率	108.3%	145.8%	133.3%	100.0%	121.9%

(エ) 施設稼働率（楽屋除く）（成果指標4）

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	50.3%	53.3%	53.5%	48.5%	51.4%
数値目標※	59%以上				
達成率	85.3%	90.3%	90.7%	82.2%	87.1%

(オ) 大ホール稼働率（成果指標5）

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	平日51.8% 土日祝71.1%	平日60.0% 土日祝80.8%	平日63.4% 土日祝84.4%	平日61.2% 土日祝69.8%	平日59.1% 土日祝76.5%
数値目標※	平日60(59)%以上 土日祝78(76)%以上				
達成率	平日86.3% 土日祝91.2%	平日100.0% 土日祝103.6%	平日105.6% 土日祝108.1%	平日102.0% 土日祝89.5%	平日98.5% 土日祝98.1%

(カ) 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数（成果指標6）

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	0日	0日	0日	0日	0日
数値目標※	年間0日				
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 千葉市文化センター

(ア) 使用件数（成果指標1）

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	3,628件	3,429件	3,705件	3,540件	3,576件
数値目標※	4,100件以上	3,967件以上	4,100件以上		
達成率	88.5%	86.4%	90.4%	86.3%	87.9%

文化センター（ア）使用件数（楽屋除く）の数値については、ホール搬入用エレベーター改修工事（平成29年10月2日から平成30年3月31日）に伴い、ホールを休館したことを踏まえ平成29年度の数値目標を見直した。

(イ) 文化振興の拠点施設としての使用件数（楽屋除く）（成果指標2）

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	1,025件	934件	1,047件	1,060件	1,017件
数値目標※	最終年度（令和2年度）に平成27年度比10%増（1,081件） 平成27年度983件				
達成率	94.8%	86.4%	96.9%	98.1%	94.1%

(ウ) 施設稼働率（楽屋除く）（成果指標3）

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	40.9%	38.8%	41.3%	38.3%	39.8%
数値目標※	45%以上				
達成率	90.9%	86.2%	91.8%	85.1%	88.5%

(エ) ホール稼働率（成果指標4）

	28年度	29年度	30年度	元年度	平均
実績値	平日46.4% 土日祝72.1%	平日45.7% 土日祝75.7%	平日45.8% 土日祝77.6%	平日45.2% 土日祝63.4%	平日45.8% 土日祝72.2%
数値目標※	平日44% 土日祝76%				
達成率	平日105.5% 土日祝94.9%	平日103.9% 土日祝99.6%	平日104.2% 土日祝102.1%	平日102.7% 土日祝83.4%	平日104.1% 土日祝95.0%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			28年度	29年度	30年度	元年度	合計
必須業務	指定管理料	実績	372,288	361,533	370,375	377,111	1,481,307
		計画	372,288	361,533	370,375	369,665	1,473,861
	利用料金	実績	137,323	127,610	153,056	137,735	555,724
		計画	143,581	129,038	145,936	151,419	569,974
	その他	実績	13,246	17,376	11,730	11,543	53,895
		計画	24,723	28,422	28,437	26,828	108,410
	合計	実績	522,857	506,519	535,161	526,389	2,090,926
		計画	540,592	518,993	544,748	547,912	2,152,245
	支出	実績	513,173	521,785	529,500	536,948	2,101,406
		計画	541,373	536,322	544,748	547,912	2,170,355
収支	実績	9,684	△ 15,266	5,661	△ 10,559	△ 10,480	
自主事業	収入	実績	9,149	25,328	22,547	19,622	76,646
		計画	9,084	23,437	24,054	24,417	80,992
	支出	実績	9,029	25,223	21,412	20,488	76,152
		計画	9,289	24,352	24,208	24,417	82,266
	収支	実績	120	105	1,135	△ 866	494
	総収入	実績	532,006	531,847	557,708	546,011	2,167,572
総支出	実績	522,202	547,008	550,912	557,436	2,177,558	
総収支	実績	9,804	△ 15,161	6,796	△ 11,425	△ 9,986	
利益の還元額	実績	0	0	0	0	0	
利益還元の内容							

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	各年度の数値目標の達成率を総合的に判断し評価した。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	削減額の主な要因は消費税率の設定の差によることから、選定時の提案額と同額として評価した。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	市民の平等利用の確保、関係法令等の遵守、リスク管理・緊急時対応において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	管理運営の執行体制や必要な専門職員の配置、従業員の能力向上において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
(2) 施設の維持管理業務	C	施設の保守管理、設備・備品の管理・清掃・警備等において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	開館時間・休館日や利用料金の設定・減免、利用促進の方策において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
(2) 利用者サービスの充実	C	利用者への支援や利用者意見聴取・自己モニタリングにおいて、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
(3) 施設における事業の実施	B	アーティストへ活動の場を提供したり、文化活動を担う人材の育成に努めたほか、市民に数多くの芸術鑑賞機会を提供する等、文化振興の拠点としての役割を十分踏まえた活動実績を残した。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等水準と同程度の評価とした。

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

千葉市民会館は、使用件数等の成果指標が未達成である状況はあるものの、施設利用者数や実演芸術の公演本数等の成果指標の達成状況から、実演芸術の鑑賞を通じ、文化に対する市民の興味・理解を深めるとともに、文化団体等の大規模な発表の場として市民の文化芸術活動を支援することに尽力してきたと言える。

また、千葉市文化センターは、全ての成果指標が目標に近づいてきており、さらに、アーティストバンクや文化サポーターバンクといった活動により長期的な視点・支援により市内の文化芸術に関する情報や人材が集まり、交流・発信していく場として市の文化振興の拠点としての役割を發揮してきた。

以上のことから、両館とも市民サービスの向上に貢献し、より多くの市民に利用してもらうという指定管理者制度導入の目的を概ね達成できたと考えるため。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

文化センターが文化振興の拠点施設となっていることなどの施設特性を踏まえると、公益性や公共性などを設立目的とした公益財団法人千葉市文化振興財団との市との連携を引き続き確保しながら、中長期的に事業を展開していく必要がある。また、市の経費負担は必要なものの、指定管理者の収入実績や将来的な人口減少などを踏まえると、自主事業を含む利用料金等の収入を事業者の創意工夫のもと得られるよう企画し、効率的な管理運営のもと本市への財政負担の軽減を引き続き図る必要がある。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

- ア 市の作成した総合評価案の妥当性について
市の作成した総合評価案の内容は、妥当であると判断される。
- イ 指定管理者制度の導入効果や課題等を踏まえた制度継続の検討、その他改善点等について
(ア) 指定管理者制度の導入効果として、当初見込んでいた効果がおおむね達成できており、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。
(イ) 両施設ともに、市の財政負担を軽減するため、自主事業も含めて利用料金収入を増加させる工夫を図られたい。
(ウ) 市民会館のホームページの利用率が低いことから、SNSなども活用し、オンラインでの周知広報に更に努められたい。